

## 序章 北海道の地理環境と気候の特徴

### 1 北海道の地理環境

北海道は、アジア大陸の東側に位置する日本列島の一部を構成する島である(図1)。南は津軽海峡をはさんで本州と、北は宗谷海峡をはさんでサハリンと向き合い、東側には千島列島が連なっている。地形をおおまかにみると、石狩平野から勇払平野にかけての低地帯を境として、東の胴体部と南西の半島部に分けることができる。

胴体部にはほぼ南北方向に連なる1000~2000m級の山地群があり、北部で二列に分岐した山地の間には盆地が並んでいる。また、東部に向かって知床半島の山々が連なっており、その南側には根釧台地が、西側には十勝平野が広がっている。また、南西の半

島部にも内浦湾をはさんでいくつもの山々が連なっており、それらの間を縫うように低地帯が分布している。

北海道は、西側に日本海、南東側に太平洋、そして北東側にオホーツク海と、三つの海に面している。日本海と太平洋、オホーツク海を隔てる海峡はいずれも浅く、津軽海峡で深さ140m程度、宗谷海峡にいたっては70m程度にすぎない。北海道の周囲には傾斜の緩やかな陸棚域が分布しているが、渡島半島西岸や知床半島付近の海底地形は比較的切り立っている。太平洋側には深さが最大8000mを超える海溝(千島カムチャッカ海溝~日本海溝)が連なっている。

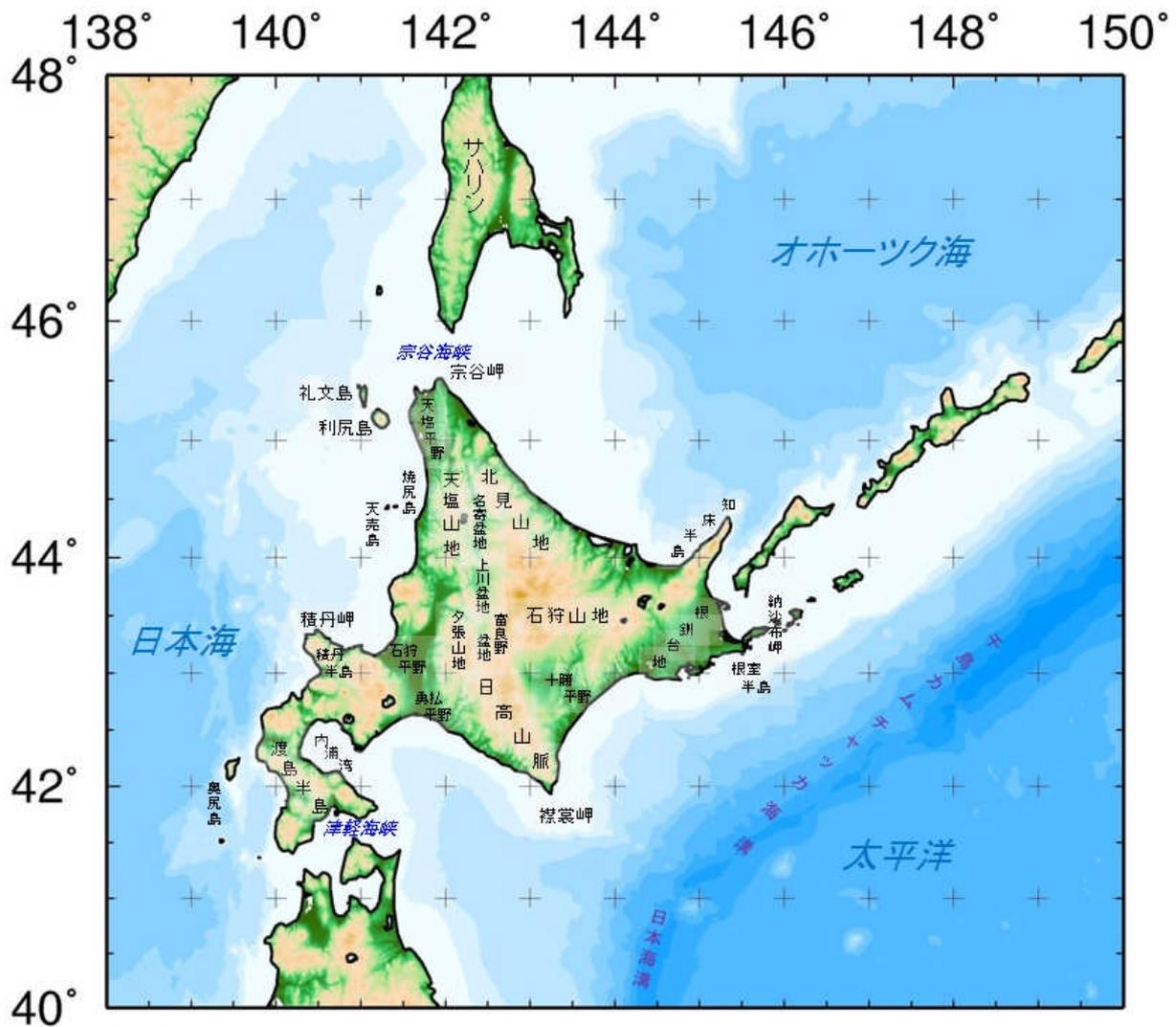


図1 北海道周辺の海陸分布と海底地形

## 2 北海道の気候の特徴

北海道は温帯気候の北限から冷帯気候の南限にあたっており、道南の一部地域を除くと冷帯湿潤気候(ケッペンの気候区分による)に分類される。その中でも、日本列島全体の特徴でもある「東岸気候」の特徴が顕著であり、冬季には大陸に蓄積された寒冷な気団が北西季節風によって運ばれ、夏季には北太平洋の温暖な気団が南東季節風に乘って流入する。このため、全般に夏と冬の温度差が大き。また、周囲の海水温が低いことも影響して、年平均気温はほぼ同緯度の大陸西岸(スペイン北部からフランス南部や北アメリカ大陸西岸)よりも低い。

北海道の気候は、温帯湿潤気候に属する本州よりも年間を通じて気温と湿度が低いのが特徴で、四季の変化も明瞭といわれる。ただ、日本の本格的な夏の先駆けとされる「梅雨」は不明瞭で、気象庁では梅雨入り・梅雨明けの発表を行わない。

北海道の気候を地形や海流(図2参照)を念頭に置いて観察すると、大まかにみて太平洋側西部・日本海側・オホーツク海側・太平洋側東部に内陸部を加えた5つに分けられる(図3)。以下、それぞれの特徴を述べる。

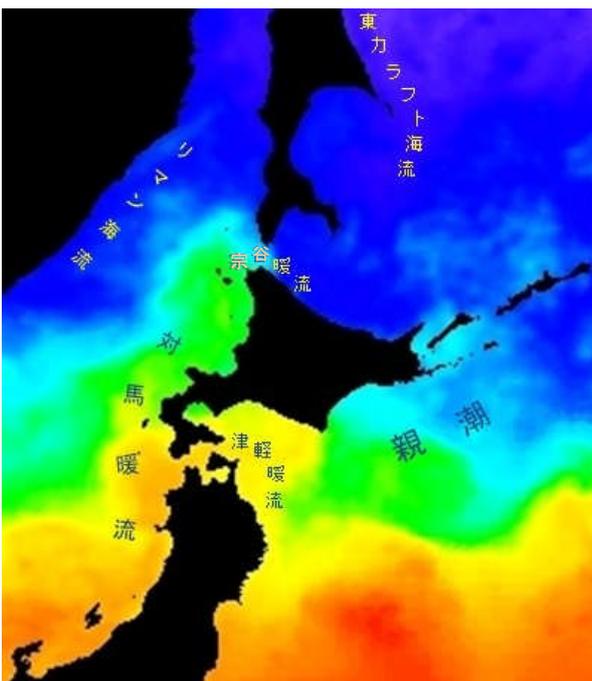


図 2 北海道周辺の海流



図 3 北海道の気候の区分

### (1) 太平洋側西部

渡島半島の南部から胆振・日高地方にかけては、津軽海峡を抜ける津軽暖流の影響を受け、北海道の中でも温暖な地域になっている。また、冬季の雪が少ないのも特色である。

### (2) 日本海側

日本海に面する檜山・後志・石狩・留萌・宗谷地方の沿岸部は、対馬暖流の影響を受けて比較的温暖である。冬季には風雪が強まるが、夏季は気温が高く、晴天が多くなる。

### (3) オホーツク海側

オホーツク海側は、夏、冬とも乾燥した季節風が吹き込むため、一年を通じて晴天に恵まれやすく、降水量の少ない地域である。冬季に流氷が接岸して海面を覆い隠すと、内陸部と同様の厳しい冷え込みが続く。

### (4) 太平洋側東部

十勝から釧路・根室地方では、夏の湿った南東季節風が親潮によって冷やされ、海霧がしばしば発生する。このため、霧の影響の及ばない内陸部を除き、夏は晴れ間が少なく、気温も上がりにくい。冬季は雪が少なく、晴天の日が多いが、厳しい寒さが続く。

### (5) 内陸部

山地に囲まれた内陸部は、夏季の最高気温はしばしば 30℃を超え、一方、冬季の最低気温は-20℃以

下になるなど、日本でもっとも寒暖差の大きい地域となっている。

図4~5に、各気候区分の特徴をもつ地点の気温、降水量、最深積雪の月変化、年間霧日数、年降雪量を示す。なお、これらの気候区分は大まかに概観したもので、旭川など内陸部と日本海側の両方の特徴を持つ地点もある。気象庁が発表する季節予報や北海道地方気象情報において細分する際には「日本海側」「太平洋側」「オホーツク海側」の3つの区域を用いており、本紙でもこの3区分を用いている。

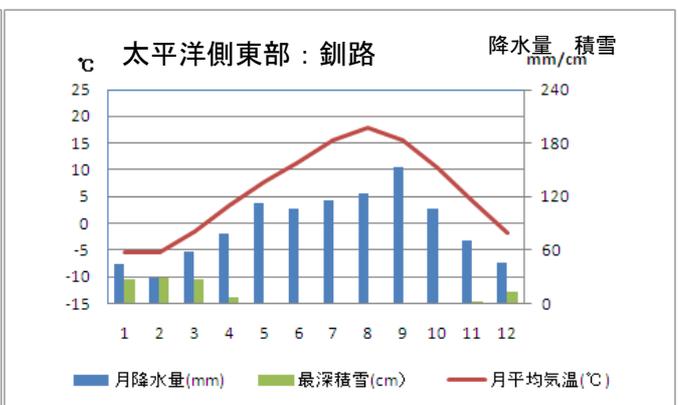
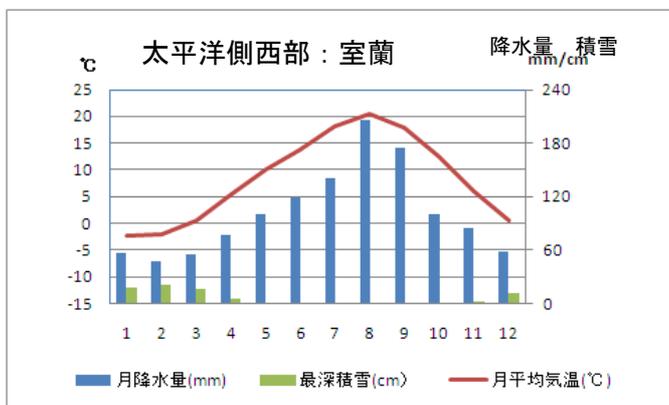
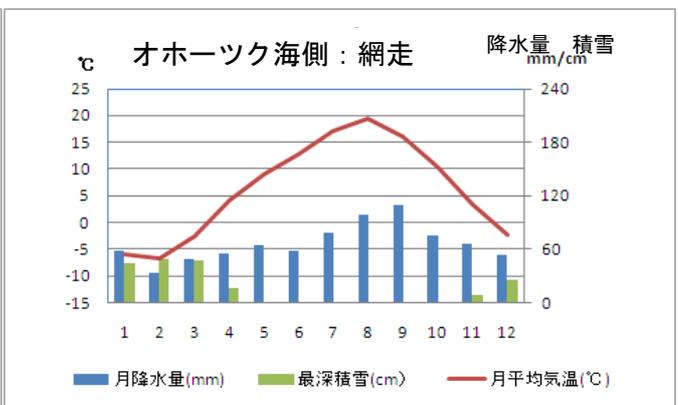
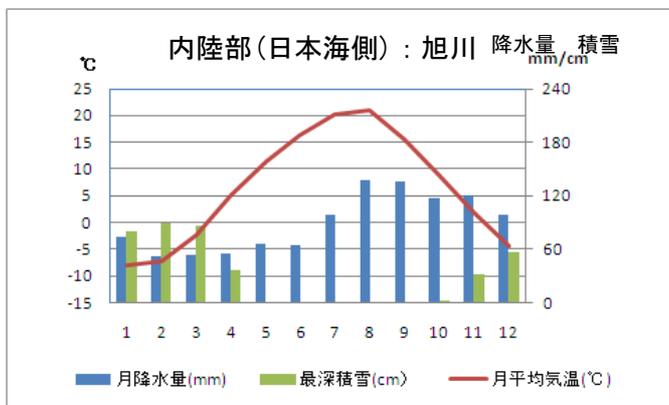
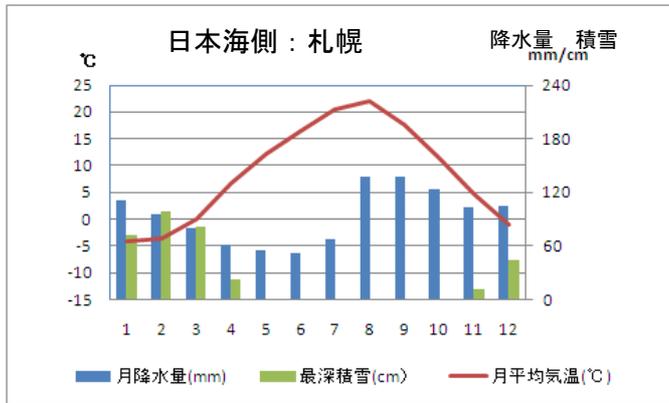


図4 北海道各地点の平均気温、降水量、最深積雪の月変化(1971年~2000年の平年値)

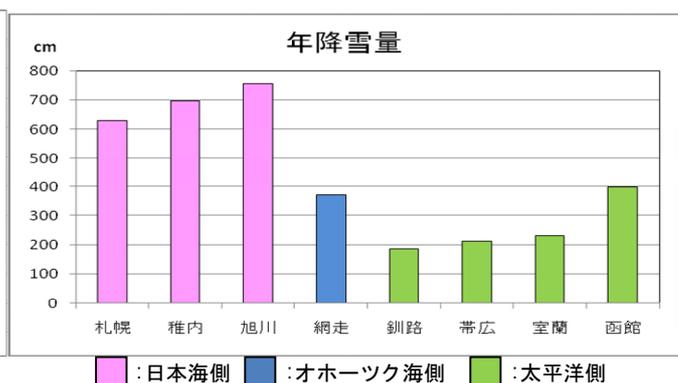
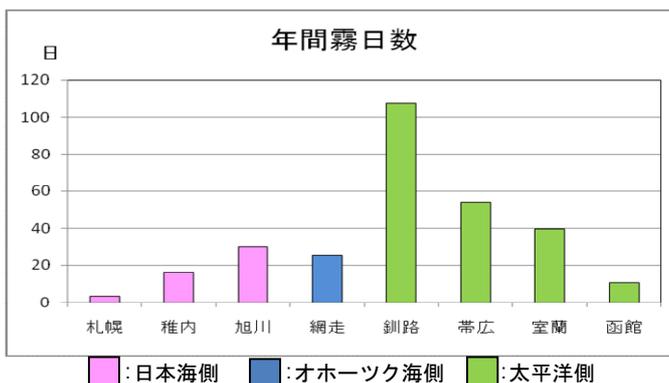


図5 北海道各地点の年間霧日数と年降雪量(1971年~2000年の平年値)